



國 帝  
會 議

## 法律や豫算は

かうして決定する  
皆さんもぜひ知つて  
ゐて下さい

今議會の大臣席(上)右から廣瀬厚相、有田外相、八田商相、大隈拓相、板垣陸相、荒木文相、米内海相、相馬下平沼首相、鹽野義太郎法相、森達相、木戸内相、前田鐵相、石渡慶相(その左が櫻内義相の席です)

# 優秀作品には「賞品」を差上げます

## 題は何でもよろしい 別紙に次の事項記入の上添付すること 、指導者等の指名 教師又は父兄その他實際作者の指導にあたつてゐる者 、指導者の言葉 作者の傾向、指導経過又は作品に關する特殊思想 締切　四月十日(三月十日は誤り) 発表　四月十五日發行コードモ新聞 宛名　日伯新聞社「コードモ新聞係」

ニツボン	(カミ)	(ネコ)	(ヒ)
ヨコ)			
一	マイ	ビキ	バ
二	マイ	ヒキ	ハ
(ワ)			
三	マイ	ビキ	バ
四	マイ	ヒキ	ハ
(ワ)			
五	マイ	ヒキ	ハ
(ワ)			
六	マイ	ビキ	バ
七	マイ	ヒキ	ハ
(ワ)			
八	マイ	ヒキ	ハ
(ワ)			
九	マイ	ヒキ	ハ
八			

羽 ヒ キヨウとよむ  
死 スル 又 メ  
妃 ヒメ  
死 スル 又 メ  
鳥 トリ  
カナ ノトキ ハ  
ヲツカヒ、カ  
ノトキハ  
ツカヒマス。  
蝶々 テテ 色々 カラカラ  
カナ デニジ  
タクサン ノ  
クリカラヘス  
ツカヒマス。  
なか ナカ  
と

の學習(四)  
のある木か。  
じきがおちさんの  
そなへようとするそ  
う。  
がらをよくしらべ  
る。さあ手の心の動きをさ  
せう。  
氣をもんで  
ふかだ。  
気ちがひのよう  
おせい  
ものすごいほど青  
白くかはつた顔

のですから、今日はこの文  
を少し別の方からしらべます  
せう。

十三頁六行までは、「鶴岡八  
幡宮で舞を舞つて頼朝が大  
きな心し、萬壽姫にぼう  
ひは望にまかせる」と言ひ  
姫は唐絵の身代りを申し出  
た。ところで、この文は二  
十頁の一行に續いて「唐絵  
がゆるされ親子うれし泣き  
に泣きながら木曾へ歸つた  
」となります。

十三頁七行から十九頁の終  
りまでは、それよりも、一  
年ほど前の話です。これは  
お話を劇的な力と興へたる方  
めに取つた順序です。劇的  
な力といふのは、皆がこの  
文を読んでみてわかるでせ  
う。

天壤ときはみなからん。」  
大神のみことのまゝに、  
神の御子代々のみ  
かどのしろしめす  
我が日本の本は神と  
人和らぎむつび、  
天と地とはに幸あ  
り。

九一  
七八  
十六  
五四  
十八

（ワ）  
一 マイ ヒキ

し方 日 くなつ ゆくづつ あたり年  
の柿の木の中、さく  
とた年、こゝでは柿  
よくなつた年。

得意 → 心配 → 決心。→  
悲痛 → 安心  
このじゅんじよで 本を よ  
く 読んでしらべなさい。

補充材料 皇國の姿

やさまえまし かきうら 天壤地  
陸奥艦 せんかん ことおほ しろしめ

日本の世界にすぐれた國體論について歌つてゐる。天照大神によつて豫言され、この豫言を歴史の上に立派にあらはして三千年、基は田

ときハワイからバナナが出来  
されましたがまだそのころは  
交通が不便なので、バナナが  
たいへん珍らしく錫の箱につ  
しんで出されたさうです。

白刃白宮

下男  
シタ  
孫  
コノ

すさまじい大砲の音  
（結果を見るのを恐れるよ  
うに大砲の上に伏した）  
喜びの聲

二人の少年のぶじ  
（無言のまゝ、じつ  
と見ゆる）  
の中は、老砲手のようす  
心の動きがわかるところだ

鎌倉の頼朝のやかたのお座敷で、しきに小松が六本、たよりに根をさして生えたので、大へんめでたいと之を鶴が岡八幡宮に移し植え、舞を奉納して神さまの御心にお禮をしたのです。

の、  
かしこや、産靈の  
わざ。  
のたまはノ  
しやるよう、申されるよう  
中つ御  
まん中の 皇系天皇の

國 みづか ふみ  
日本で大和のなべてすべりになる  
上つく言葉なべてすべりになる  
みんなわざしさなまめに  
學習の仕方  
一、暗説するまで讀むこと。  
二、うつして書くこと。  
三、愛國行進曲と合せて讀んでみること。

のことをよく考へて、詩を勉強しなさい。

ほろい心を持つてをりましと  
ひろめで揚揚な性質だつたので  
す。それはいまに残つてゐ  
るあの子供らしい顔の表情であ  
らでも察しられませう。しかも  
し、體操の時間に先生が裕福な  
でもらせると、その顔は威風堂  
堂として引きしまります。  
△△

たが、鎮守様のお祭りで宮相撲の太鼓が鳴るとどツとしてゐられません。いつの間にか利吉小僧が消えてゐるのです。この酒屋の主人は民政黨總裁の町田忠治さんの親類にあつたので「利吉の奴」相撲に行つたナ、仕様のない奴だが、好きなものなら止めるわけにも行かん」と笑つてをりました。

ンケンヤシ  
ンヤチソボ

うそこえるときだ」ときもち  
よささうに、おつしやいまし  
た。

まらをか・はなこ  
こえる

クン自身好きな道に、「一心に  
なつて、闘んだ結果と喜ばれ  
ます。【認真】は優勝して「攝  
政盃」を頂いた出羽義關

ことし「ねんせいの、ちご  
うさんは、たべかけたこはん  
を、ちょっとやすんで「おと  
うさん、うまでもやつぱり、  
なつのうちは、こはんがたん  
さんたべられなかつたんです

この頃支那に行つて戻つて  
ゐる皇帝勇士の歌ですぐれた  
人の作品にも劣らない立派  
なものが澤山出てゐます。又  
供が一切も食べなかつた、そ  
ぶたが殺される時に支離の家  
遊びに行つた)食盛りの子  
供が死した許婚に殉死したある

An illustration showing a group of children playing together. In the foreground, a child is holding a small object, possibly a toy or a piece of food. The children are dressed in simple clothing, and the scene is set outdoors with trees in the background.

